

## 再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担 当 課: 道路局 環境安全・防災課

担当課長名: 水野 宏治

事業名	地高ICアクセス 市道茂平148号長瀬苅無線 茂平工区	事業区分	地方道	事業主体	岡山県 笠岡市
起終点	自: 笠岡市茂平地内 至: 笠岡市茂平地内			延長	0.34km
事業概要					
<p>市道茂平 148 号長瀬苅無線は、笠岡市茂平地区の主要地方道井原福山港線を結び、国道 2 号に至る笠岡市の重要な路線であり、整備が進められている国道2号笠岡バイパスの笠岡西 IC(仮称)へのアクセス道路に位置付けられている。</p> <p>当該箇所の整備により、円滑な輸送体系が構築されるとともに慢性的な渋滞の解消が図られるため、早期に整備を行う必要がある。</p>					
H31年度事業化		H13年度都市計画決定		R2年度用地着手	
R2年度工事着手					
全体事業費	約11億円	事業進捗率	約25%	供用済延長	- km
計画交通量	56,800台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	11.3		7.3/11 億円	130/130億円	
	(参考) 16.7 [2%]	31.0%	事業費: 7.0/11 億円	走行時間短縮便益: 122/122億円	令和7年
	20.9 [1%]		維持管理費: 0.25/0.25億円	走行経費減少便益: 6.7/ 6.7億円	
	(残事業)	(残事業)	更新費: - / - 億円	交通事故減少便益: 1.3/ 1.3億円	
17.8		感度分析 (事業全体)	(残事業)		
(参考) 25.4 [2%]	83.5%	交通量 B/C=10.2~12.5(±10%)	交通量 B/C=16.1~19.6(±10%)		
31.1 [1%]		事業費 B/C=10.7~12.1(±10%)	事業費 B/C=16.3~19.7(±10%)		
		事業期間 B/C=10.9~11.8(±20%)	事業期間 B/C=17.1~18.6(±20%)		
事業の効果等					
<p>① 地域間連携の支援 岡山県南生活圈中心都市(岡山市、倉敷市)へのアクセス性が向上し、交流・連携の促進が期待される。</p> <p>② 地域経済の支援 笠岡市、福山市臨海部の工業地帯と笠岡バイパスを連絡し、地域経済の活性化が期待される。</p> <p>③ 地域防災の支援 第二次緊急輸送道路の強靱化が期待される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>・地元笠岡市長を会長とする国道2号玉島笠岡間整備推進協議会(笠岡市、倉敷市、浅口市、里庄町、及び各議会)から毎年早期整備を要望されている。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

国道2号笠岡バイパスの開通時期が当初令和7年度とされていたが、整備中の笠岡バイパスにおいて盛土に変状が確認されたことで開通時期が見直されている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地進捗率約99%、事業進捗率約25%

残事業内容：交差点改良、信号機等移設

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

国道2号笠岡バイパスの開通と合わせ本事業も完了するよう、確実に事業を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

建設発生土の現場内利用など有効利用に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業進捗に支障となっている事象はなく、事業の効果等から、事業継続が妥当と考える。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)